

11/22 木 晴

看護師紹介料1人76万円

既卒の看護師275人を確保するため医療機関が民間紹介事業者に払った手数料が総額約2億900万円に上った。そんな実態が舍日本医連の調査で分かりました。1人当たりの平均額は約76万円です。高額な紹介料が経営を圧迫するなど問題になっています。

(小林圭子)

民医連136病院

20年度 275人で2億900万円

医療機関の経営圧迫

調査は昨年9月に実施したもので、民医連に加盟する全国136の病院が回答。約半数の病院が有料紹介を利用しており、2020年度に既卒で入職した看護師のうち、医療事業者の紹介は275人で30%に上ります。

紹介料は事業者が定め、看護師の年収の20%程度が一般的だといいます。

北海道医連の須田倫子副会長（看護師）は「現場は安定して夜勤者を確保することが大変困難です。夜勤ができるハローワークなど公的職業紹介の機能を拡充すべきで、一定の経験を積んだ人材を求めるところの紹介料も高額になる」と話します。

調査は昨年9月に実施した

す。

新型コロナウイルス感染症の影響で、医療機関の経営は悪化しています。民医連が30%の法人を調査（21年度上半期）したところ、コロナ禍前の19年度比で延べ患者数は、入院96・1%、外来91・6%と減少しました。

須田さんは「コロナにより経営が厳しい中で、紹介料が大きな負担になっています。

看護師の紹介が有料である」とが問題です。無料で紹介す

るほか、民間の有料紹介とハローワークなどの無料紹介が併用されることがあります。

看護師の募集は、病院がホームページなどで直接募集するほか、民間の有料紹介とハローワークなどの無料紹介があります。

（15面）

民間の高額な紹介手数料

一面のつづき

現状をこう語ります。

看護師不足が深刻な医療現場では、民間紹介事業者に高額な紹介手数料を払ってでも職員を確保しなければならない状況です。

北海道医連の須田倫子副会長（看護師）は、「民間を使わざるを得ない」と

「公的紹介事業者と比べ民間は紹介数が圧倒的に多い。民間の場合、求職者はインターネットで手軽に登録でき、その後は業者がやってくれる。求職者が民間に登録するのは当然だと思う」

民間は紹介事業者と比べ多くの電話があります。民間事業者の競争も激しくなり、求職者のメンタルサポートや就職後のアフターパートなどもしっかりとあります。

規制に後ろ向き

制度上、紹介料の上限はありません。上限の設定について、昨年6月に閣議決定された答弁書には、紹介料は労働市場の開拓による変動するとの説明。「慎重な検討が必要である」と後ろ向きな姿勢が示されています。

公的事業としては、ハローワークのほかに都道府県の看護協会が運営する無料のナースセンターがあります。職員は基本的に同窓会の看護師であるため、現場を理解しないスマッシュが起きついといいます。しかし、民間業者より担当職員の数も少なく紹介数もわずかだと思います。

日本医連の宮川喜美理事（看護師）は、「民間紹介事業者とのトラブルの報道を除けば、医生労働組合が作成した手引書ですが、詳めてしまった」。医療機関などが民間紹介事業者とのトラブルの報道を除けば、医生労働組合が作成した手引書ですが、詳めてしまった

クからの紹介は年間1~2件ほど。一方、民間が毎日のように紹介の電話があります。民間事業者の競争も激しくなり、求職者のメンタルサポートや就職後のアフターパートなどもしっかりとあります。

「退職の面倒までみる業者もある。詰めてもらいた方が次を紹介できる。人を動かしてもうける仕事だ。医療機関と電話やメールだけで対応する業者もある。チーフで信頼関係を築きながらケアするところです。

新卒者も増える

民間を利用する新卒者がも増えています。20年度は新卒者に占める割合が0.8%（8人）で、前年比で倍増しました。紹介料の総額は約560万円です。

高川さんは「求職者がインターネット上で資料請求する」と「問い合わせてから登録するよう巧妙に設定されている。新卒者が就職で何も分からず登録したりすることも増えていく」として、もう指摘します。

「民間事業者に支払う仲介料は、求職している看護師のためにも、募集する病院のためにもならない。ハローワークやナースセンターの機能を拡充し、求職者のサポート